北原小学校校舎等整備基本構想・基本計画(案)の説明会の実施結果について

1 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
2月2日(日) 10時00分から11時30分まで	野方区民活動センター	18人
2月3日(月) 18時30分から20時00分まで	野方区民活動センター	11人

2 説明会で寄せられた主な質問・意見について

	意見の概要	回答
1	児童は、南側の門から登下校するのか。 西側の門は使用しないのか。	児童は、南側の門から登下校をする想定であるが、現在は、登校のみ北西側の門も使用していると聞いているので、学校と相談の上、登校時に北西側の門を使用することも検討する。
2	現校舎にあって新校舎でなくなるものや、 現校舎になくて新校舎に新しくできるものはあるか。	現校舎にあって新校舎でなくなるものは、基本的にない。新校舎に新たにできるものは、主に学童クラブ室や地域連携室などであり、また、給食室や教室等の各諸室の面積は広がる。
3	ワークスペースとは、どの部分を指しているのか。 ワークスペースの面積があまり広がらないが、どのような使用イメージか。	ワークスペースとは、2階・3階の東西にある「WS」と記載しているスペースや、3階のアクティブラーニングスペース等のことである。グループ学習や調べ学習など、教室の中にとらわれずに学習を行うスペースとして考えているが、学校とも相談し、具体的な使い方を検討していきたい。

4	現在、校庭にある樹木はどのようになるのか。校庭の桜の木はどうなるのか。	既存樹木については、樹木診断を行い、移植できるものは移植する予定である。桜の木については、診断の結果、状態が悪いため、伐採を予定している。
5	現在、校舎の前にある池はなくなるのか。	その予定である。
6	太陽光パネルは設置するのか。	屋上に配置する予定である。
7	校庭整備を土舗装にすることとした経緯を教えて欲しい。	区は、当初、人工芝舗装にする予定でいたが、北原小学校は地域のイベントが校庭で盛んに行われており、人工芝の場合、特に火を使うイベントに制約がかかることから、人工芝ではなく土舗装が良いという意見が出された。この状況を踏まえ、改築推進委員会で意見を伺ったところ、今まで通りイベントを実施し、子どもたちと地域との交流を続けたいという要望が多くあったことから、土舗装とした。
8	現在は天然芝の校庭だが、天然芝としない理由は何か。	天然芝は、養生期間中に児童が校庭を使用できないことから、現在、新たには導入していない。
9	近年改築した他の区立小中学校は、土舗装なのか。	人工芝舗装である。
10	区内の他の改築をした小学校の校庭の広さはどれくらいか。新校舎の校庭が小さいが、学校運営に支障はないのか。	近年改築した区内の小学校の校庭は、概ね110m又は120mトラックが収まる程度の広さである。現在の北原小学校は110mトラックだが、新校舎でも110mトラックと、50m走の直線ラインを確保する計画としている。
11	校庭を土舗装にすることによって、砂塵が発生すると思うが、砂塵の影響について、周辺住民に対してどの時期にどのような方法で周知するのか。	土舗装に特化した特別な説明は予定していない。土舗装の仕様については、砂塵の飛びにくいものなどもあり、性能について研究しながら整備をしていきたい。

12	現在、校庭には、ジャングルジム、登り棒、鉄棒、砂場などがあるが、それらはどうなる予定か。	ジャングルジム、登り棒、鉄棒、砂場は、場所は変わるが、新校舎でも設置予定である。
13	キッズ・プラザは計画しないのか。	キッズ・プラザの活動室専用の部屋は設けないが、キッズ・プラザとしての機能は設ける予定である。1階の多目的室を学童クラブに隣接して配置し、放課後に児童が使えるような運用を検討している。
14	キッズ・プラザの出入口が北側にあるが、児童の動線はどうなるのか。	来客用の出入口を敷地北側に設けており、児童も北側から出入りすることを想定しているが、校庭に近い東側にも出入口を計画している。動線については、設計の中で、さらに検討していく。
15	新校舎が完成したら、現在の北原児童館と北原学童クラブはどうなるのか。	北原学童クラブは、新校舎に移転する予定であるが、北原児童館の児童館機能は残る予定である。
16	学童クラブの送迎用の自転車はどこに止めるのか。また、学童クラブの門のセキュリティはどうなるのか。	敷地北側に配置している学童クラブ用の門を入った場所に駐輪スペースを設ける予定である。学童クラブの門には電子錠が付く予定である。
17	新校舎整備等のスケジュールの想定が大きく変わることはあるのか。	北原小学校は、周辺道路の幅員が狭く、工事車両の制限があることから、当初の想定より、整備期間が長くなっている。設計作業等を進めていく中で、さらに工期が延長する可能性もあるが、設計や工事の説明会で説明していく。
18	改築整備が令和9年度からとなっているが、この期間に解体工事は含まれているか。また、解体工事はどれくらいの期間がかかるのか。	改築整備の4年間に解体工事期間が含まれている。これから解体設計を実施するので、具体的な期間はまだ分からないが、おおよそ1年程度と考えている。
19	現校舎より前の木造校舎当時の解体の際は、解体工事による地響きがすごかったが、今回の解体は大丈夫なのか。	解体工事の際には、相応の音や振動はやむを得ず発生するが、周辺住民の生活環境に一定の配慮しながら計画をしていく。

20	<p>工事期間中は、代替校舎である明和中学校跡施設(旧第四中学校)へ通うことになるが、学区北側に住んでいる児童は、緑野小学校に通う方が、距離も近く、線路を渡らずに済む。緑野小への通学は可能なのか。また、どのように相談すれば良いか。</p>	<p>意見を担当所管課へ伝える。</p>
----	---	----------------------